

千葉大学 園芸学部 緑地環境学科
2020年度 秋学期
環境造園実習Ⅲ

中山道 板橋宿 不動通り地区の再生
作品集

【実習の概要】

1. 演習の目的

- 環境構造を把握評価するコンテキスト分析の方法論を取得し、その成果に基づき、風景や仕組みなどの計画設計手法を習得します
- 本演習では、歴史文化、コミュニティ、地域活性化等の視点から、そこに暮らす人々(あるいは訪れる人々)の生活の質を向上させる提案に向けた技法を学び、実践的問題解決能力を養うことを目標とします

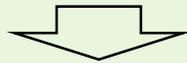
2. 演習内容

■対象地： 板橋区「中山道 旧板橋宿」を中心としたエリア

■スケジュール

前半

空間対象が有する時空間的文脈の把握に加え、これまでのコミュニティの活動や議論を踏まえ、課題を定義します



後半

そこに暮らす人々(訪れる人々)が、よりよい都市生活を享受するため対象地の「潜在的資源の発現」「課題の解決」「新たな価値の創造」につながる、**計画、デザイン、仕掛け等について提案**を行います

【提案テーマ一覧】

1. はみだす商店街
2. 光でまちを照らす
3. 悠久の時
4. 空間で繋がる
5. 親子通り商店街
6. 井戸×花手水
7. 趣味シェア商店街
8. Musubu Farm むすびののうえん

〈どうしたら商店街がもっとよくなる？〉

〈目標〉

「つながる風景」をつくる

- ① 繋がりが合う人々の温かい風景をより魅力的にみせる
- ② 人々の繋がりをより助長する

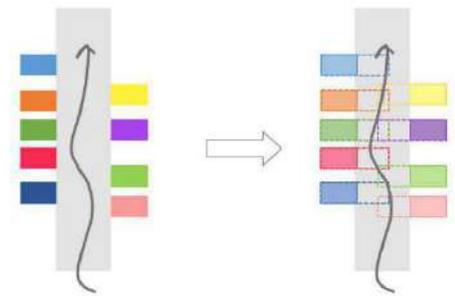


はみだす

→ お店が建物の内側から外側にはみだす

- ・ 商店街の温かみ溢れる風景がよくなるようになる！
- ・ 会話の機会や新たなつながりが生まれる機会が増える！

イメージ

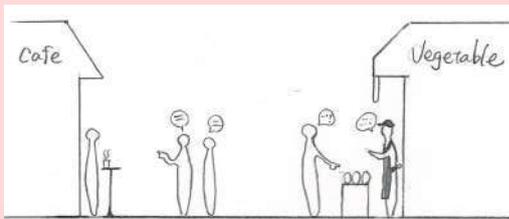


「つながる風景」を目指して

はみだす商店街をつくる

5つのツールを組み合わせつつっていく

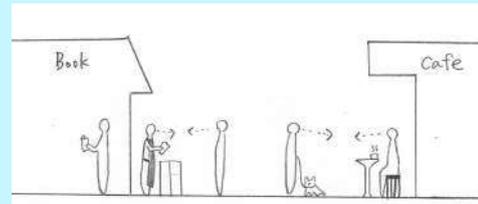
A 会話



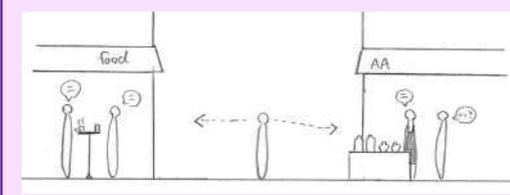
B 挨拶



C アイコンタクト



D 視界



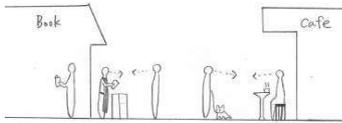
F 車両通行止め



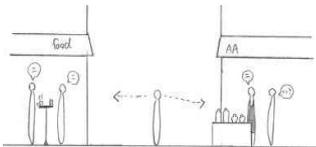
3つに分類した店それぞれに対してツールを組み合わせる

1. 飲食系

C アイコンタクト



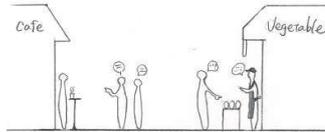
D 視界



- ・ cafe の人々が会話したりくつろいだりしている様子が外にも伝わる
- ・利用者がリラックスできるように視界をある程度遮る

2. 販売系

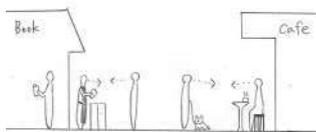
A 会話



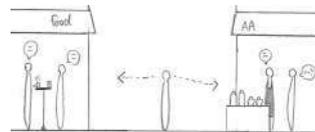
B あいさつ



C アイコンタクト



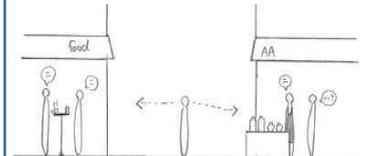
D 視界



- ・会話が生まれる空間
- ・道を歩きながら店の人とあいさつを交わしたりアイコンタクトしたりできる
- ・外から見ても店の雰囲気が分かり、気軽にふらっと立ち寄れる

3. サービス系

D 視界



- ・視界を遮る
- ・人が活動している様子が外からもわかるようにしたい



具体的に落とし込むと…

1. 飲食系 (Cafe、ご飯屋さんなど)

①外にテラスのような座席を設けて人が滞留できるスペースをつくる

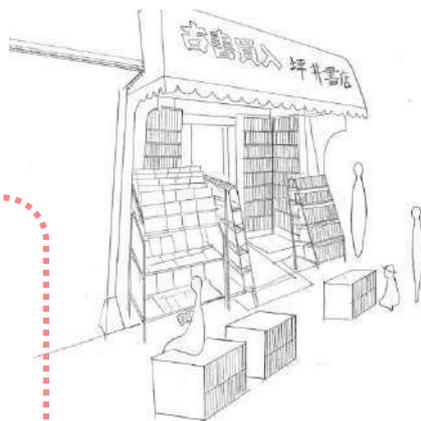
- ・道を歩いている人と外の座席を利用する人がアイコンタクトを取れる
- ・外からでもお店を利用する人々の様子が分かる
- ・人の存在を感じる



2. 販売系（書店、八百屋、花屋など）

- ①路面に店が飛び出すようにする
- ②屋台のようなつくりの物をつくって道路で商品を売る
- ③滞留スペースをつくる

- ・道に広がっているのが気軽に立ち寄れる雰囲気になっている
- ・道を歩いてい人と店を利用する人がアイコンタクトを取れる
- ・店主とお客さんがもっと気軽に会話できる
- ・もしかするとお客さん同士も会話の機会が生まれるかも
- ・道を歩いているだけで、店の賑わいを目で見て感じられる



3. サービス系（病院、美容室など）

- ①すりガラスとふつうのガラスを組み合わせた窓をつくる
- ②健康や美容に関する豆知識など、役立ち情報の掲示板

- ・すりガラスから人影がみえて、建物の中に人がいることが分かる
- ・掲示板でコミュニケーションを取れ、つながりが生まれる



車両通行止め

日にちと時間を決めて行う

水曜日 12:00～16:00 週半ばの水曜日

金曜日 17:00～19:00 今週もお疲れ様、金曜夜市

土曜日 10:00～18:00 ゆっくり時間が流れる土曜日

日曜日 10:00～16:00 夜ははやく帰ろう日曜日

◎ルール

- ・車両通行止め中は、本来歩道である部分まで店舗がはみだしてよい。
- ・車両通行止め中は、自転車は降りて押す。
- ・緊急車両の通行は許可する。その際はすみやかに道をあける。

- ・自動車を気にせずゆっくり歩いて商店街を散歩できる
- ・徒歩で道を歩くことで、目的の店以外の店にも目が行くようになる

+α 空き家・空き地の活用についての提案

店がたくさんあったほうが賑わいも生まれるし、つながりも多くなるのではないかな

・空き家のシャッターの前で出店するお店を募集する

・空き家の店舗部分を開放して、そこで人が滞留できるようにする

・店舗部分を開放して若い芸術家や作家の展示をやったり、若い人が安く出店できそうなシステムをつくる（若者を呼び込んでまちを活性化させる）

光でまちを照らす

旧中山道から石神井川までは静かな住宅地を囲んでいる。

商店街や神社、お寺がたくさんあつて、買い物、散歩、名所めぐりなど、様々なことができ、外国人の観光に適する地域だと考えた。

外国観光客と地元住民の両方を喜ばせる方法を探し、「win-win」な観光環境を目標として提案する。

——調査結論:

メリット: 交通一首都高速中央環状線に近い; 駅からすぐ; 池袋ショッピングエリアに近い

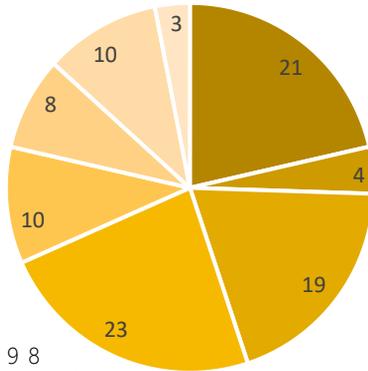
観光客が多い
観光一長い歴史を持つ; 神社、お寺、花見場所に近い; 潜在

デメリット: 施設古い; 空き店舗; 照明悪い; 公園利用率低い; 知名度低い

チャンス: コロナ以後膨大な観光客数; 令和3年オリンピック大会開催; 国際交流の深化

チャレンジ: 住宅地と観光地域の調和; カルチャーショック

20-30代中国人が日本を訪れる際の観光傾向



アンケート受けた人数: 98
調査期日: 2020・11・10
調査者: 劉 浅予

- 飲食店
- ショッピング
- 無目的散歩
- 地域イベント参加
- ファッションブランド
- 名所めぐり
- 花見
- 着物体験



コンセプト:

光で町を照らして、安全、快適な生活環境を地域住民に与える一方、イルミネーションで賑やかな雰囲気を作り、観光客を引き寄せる。

シェアサイクルを設置し、夜でも明るくサイクルできる環境を作るべき。誰でも、どこでも自由に使える交通観光手段を作って、潜在的な観光客を発見し、住民にとっても便利なものになる。

光でまちを照らす

観光側提案——照明や看板の考え

20 - 30代の外国観光客にアンケートされた結果、**飲食店や散歩**の選択肢に高い傾向が見られる。不動通り商店街では、日本独特な飲食店があり、ちょうどいい値段で顧客を満足させる。見た目の良い看板が古い施設や建物を隠して、**日本町並みの独特な文化**も表してくる。

LEDライトで看板を設置し、**賑やかな商店街の雰囲気**を作る一方、照明システムの一部にもなれるため、地元住民にも心地良い安心感を与える。

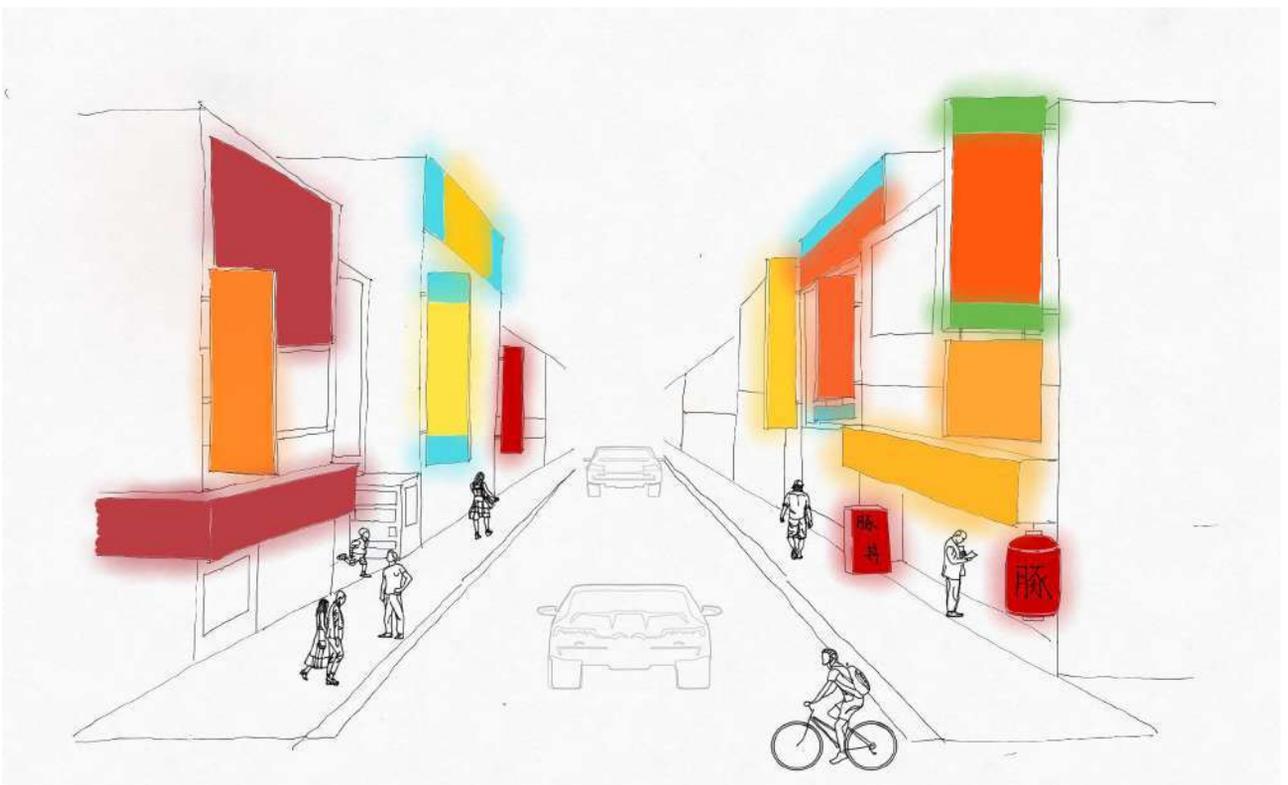
散歩地域としての石神井川沿岸の街路樹にイルミネーションをして、夜にも明るく散歩できることにした。



ledライト看板

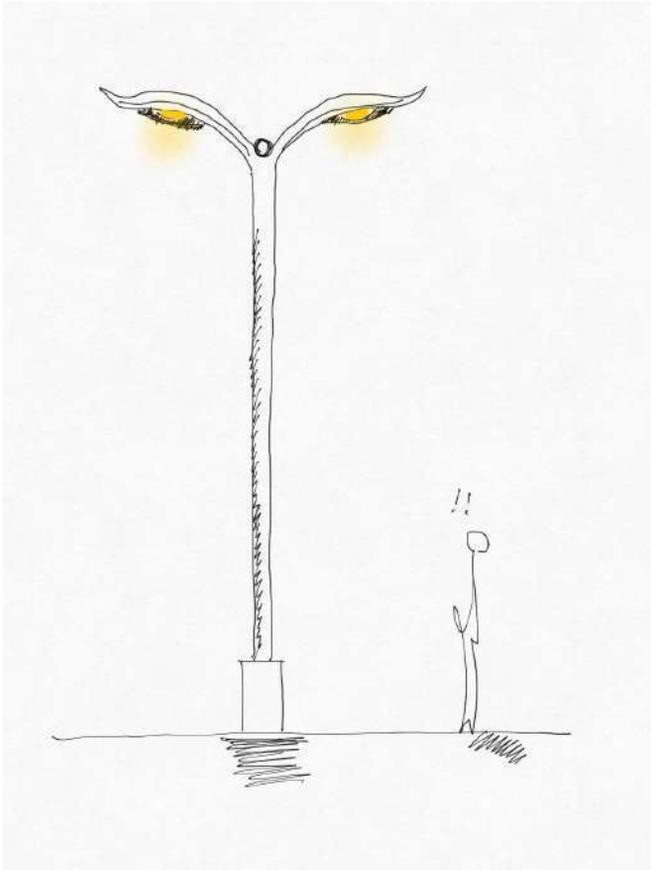


イルミネーションで明るい樹木

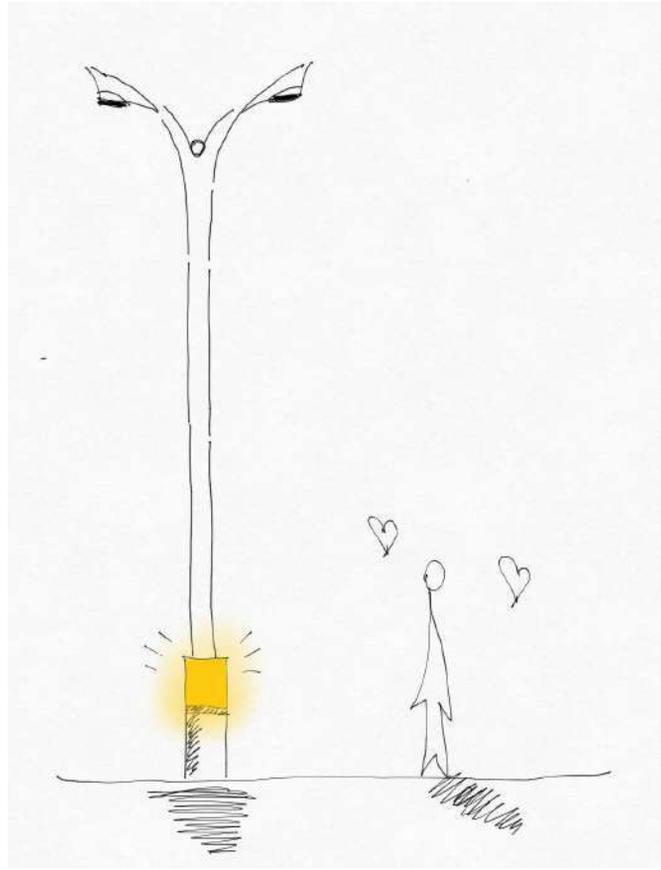


明るい町並み

町照明の考え方——led看板を妨げないように

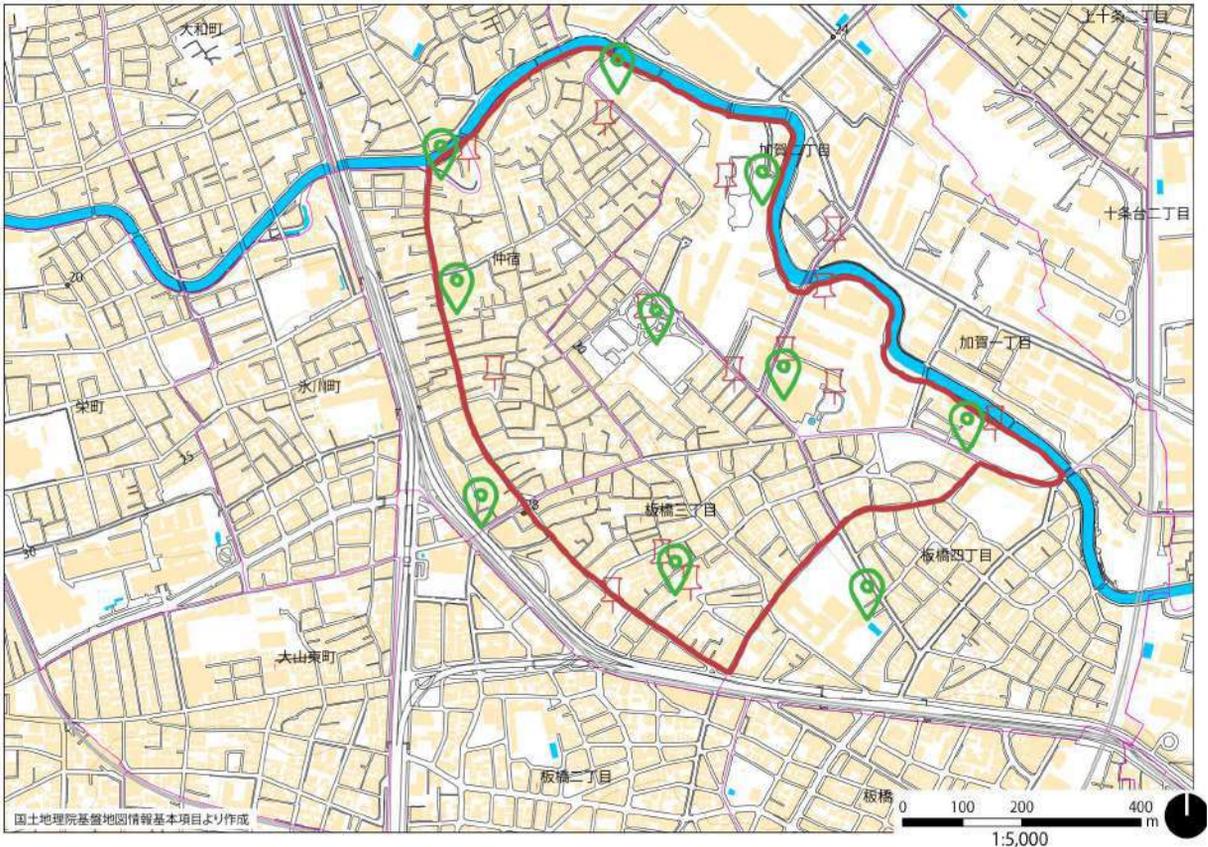


普通照明施設



照明は上と下二つの部分で、時間による違う部分から光を出す

交通側提案——シェアサイクル拡大の考え



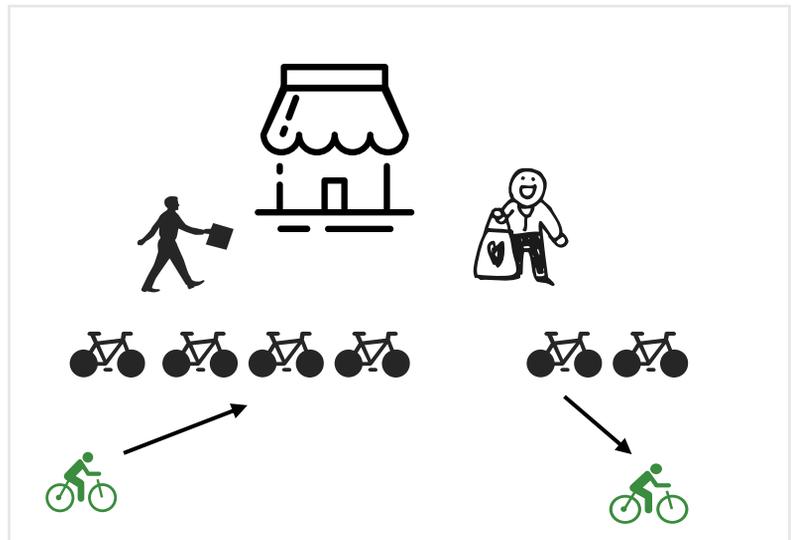
観光施設と仮シェアサイクル駐輪場



夜サイクルイメージ図



現在駐輪混雑問題



自家用自転車の代わりに、シェアサイクルで自転車を使い回し、駐輪混雑問題を解決する



シェアサイクル拡大後イメージ図

どこでも、誰でも自由に使えるシェアサイクルは近年国々で広がっている。**夜のイルミネーションの中でサイクル**をすることを提案する。

住宅地域中のコンビニエンスストアやスーパーなどでの**駐輪スペースが問題**となり、シェアサイクルでこの問題を解決したいと思う。

そして、**便利な交通手段**として、駅と駅の間移動することも簡単になり、周り地域にいる潜在的観光客は電車の乗り換えを省略し、シェアサイクルを使って、自由に移動することができる。

悠久の時

概要

仲宿と不動通り商店街、一見1つの商店街に見えるが店舗の構成や景観要素、利用目的の違いを考察するとそれぞれの商店街の良さや悪さ、可能性が見えてくる。仲宿に人通りが集中している現在、不動通りだからこそ出来ること、人々にもたらす幸福は何だろうか。



分析

■：飲食店
■：スーパー、生活雑貨

仲宿

- ・スーパーや生活雑貨を取り扱う店が多く自転車での買い物客、主婦層が多い。近隣に大学もあるため、若者もよく通る。商店街の主要生活圏。

交通量が多いのに対し、道路が狭い。

歩きにくい、忙しい



分析

■：飲食店
■：スーパー、生活雑貨

不動通り

- ・飲食店は商店街の入り口に集中している。
- ・スーパーはあるけれど仲宿の方が大きい。
- ・人通りは少ないので歩きやすい。
- ・個人経営の種類豊富な専門店



不動通りのだけの個性

前提

仲宿で生活が賄えてしまうと、不動通りが商業的發展を単純に追いかけるのは危険。

不動通りの個性

ゆっくり進む時間、心の余裕、人々の温かみ



目指す目標

昔ながらの景観を価値とし、
豊かなコミュニティが創造されるよう
不動通りの個性を活かす郷愁的な街並み、
仕組みを形成。

憩いの場、活動の場
居心地の良い街



レトロ
街並み

基本方針 3本柱

子ども
遊び

店主
人柄

景観の形成、コミュニティの誘発を行う際の3つの基本方針を作成。

1. レトロの街並み
2. 子供の遊び場
3. 店主の人柄

1 レトロの街並み

レトロが見やすい街

商店街に残った昭和レトロ要素をより見やすく、懐かしみのある空間とすることによって他の街区との差別化、昔の隣家どうしのコミュニティや商店と客との会話のように空間が新たな会話を生む機会になる。

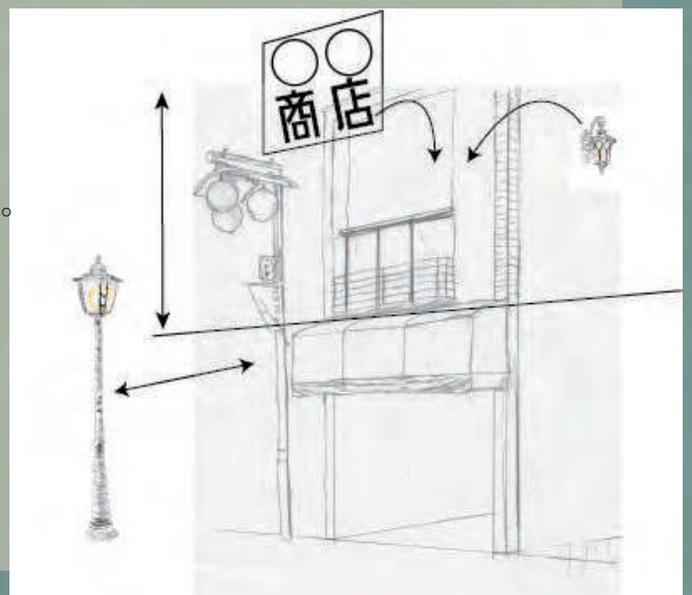
- 街灯を暖色系に、看板と被らないよう低く。
- 商店上部にあるスペースに見出し看板を設置。
- 新規の看板や広告にはアルファベットの利用を避ける。

あなたと、コンビニ。

FamilyMart

あなたと、コンビニ。

ファミリースト



2 子どもの遊び場

昔遊びの伝授

昔遊びは大人も子供と一緒に楽しめる。
異なる年齢層が繋がるきっかけ。

- ・輪ゴム鉄砲の作り方やベーゴマのセミナーイベントの開催。

子ども商店街

放課後の時間帯を車両通行止めにして、子どもたちが商店でおやつを買って縁宿広場を中心に自由に遊べる場を作成する。



3 店主の人柄

商店街オリジナルポスター

個性豊かな店主は不動通りの魅力の1つ。
ポスターを見るだけで店主の人柄が何となく分かるため、間接的なコミュニケーションツールとして利用できる。
面白いポスターの方がどんな商店なのか気になり、お店に入る、見るきっかけになる。



注：画像は文の里商店街より

悠久の時

不動通りを訪れた人々は個性豊かな店主との会話、自由に遊ぶ子供達を見てどこか懐かしい気持ちになる。
時間がゆっくり流れる。
「豊かな生活。ふるさと」とは

買わなくていいから寄ってけ!

意見交換会のまとめ

対象	地区全体	住宅地	道路	商店街	石神井川・史跡等	公園・その他
問題点 	<p>地区全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空室や地震が心配 ・仲宿地区に関する的確な情報提供がもっと必要 	<p>密集した住宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道が道路狭 ・狭くて3階建てが建たない ・非同化は営業部が難しい ・リフォームで道が広がらない ・道が狭く家が建替えられない ・空室が増加しており、管理や防犯上の心配がある ・都市計画道路を整備して欲しい(建築制限がある) <p>古い住宅・アパート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い住宅やアパートが密集している場所は地震・空室が心配 ・火災時の危険が高い ・耐震化が行き届いていない <p>空き地・既存の児童公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園に防犯機能が無い(防犯水筒など) ・井戸が飲用ではない 	<p>狭い道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路に救急車や消防車などの緊急車両が入れない ・電柱により道が狭くなり、通行に邪魔な場所がある <p>幅が狭く不揃いな道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路幅が不揃い ・狭い道路がたまたまあり、空室時の避難路が心配 ・旧中山道を補完する道路が奥側がない ・柳の通過りは狭いが、夕方以降、狭い道になっている <p>見通しの悪い道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が曲がりにくい ・交差点の事故が危険 ・中山道から内側の道は暗いので防犯上危険 <p>その他の道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環状七号線、中山道は空室が多い/ 交通量が多く危険を感じる 	<p>商店街 (旧中山道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の商品が道路にはみ出していき ・自転車のマナーが悪い ・活気が少なくなった ・道が凸凹で歩きづらい ・道がカタカタ <p>人通りが減った商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパーができて、大通りが増えた ・ロード整備だけではお客が呼べない ・不動通りのお店が少なくなってきている ・(候補者がいない) ・マンションへの建替えなどにより店が閉って寂しい ・車が進入してきている ・(横道から入れる) ・路上駐車が(王子新道) 	<p>石神井川・史跡等</p> <p>石神井川緑道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが散らかっている ・放置自転車が ・桜苗木にむらがある <p>石神井川沿道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石神井川の散歩道が暗い ・集中豪雨で石神井川周辺の排水溝が溢れた <p>まちの史跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの歴史がわかるような場所がない(憩いの家) ・高齢者の施設がない(グローバルホームなど) <p>マンション等の高い建物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションの影になり、日当たりの悪い場所がある ・景観上良くない/ 商店街を分断している 	<p>公園・その他</p> <p>地域内の公園・施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の遊び場・公園・施設が少ない ・東横公園：入口が狭い・緑が薄い ・夜間は暗い ・ボランティアセンターはルールが厳しく、使いづらい <p>散歩する人・高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄り立ち寄りやすいような場所がない(憩いの家) ・高齢者の施設がない(グローバルホームなど) <p>地域の住民・コミュニティ(町会など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会の集会所がない ・ワンルームマンションは増地しているが、まちへの還元がない・地域に密着しない 
	将来像 	<p>安心・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震に強い安全・安心なまちに! <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト・ハードの両面から災害に強いまちにしていきたい 	<p>住宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“倒れない・燃えない・壊れさせない”丈夫な住宅地にしていく! <p>住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な住環境を守り、まちづくりに活かしたい <p>共同化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の共同化を考える <p>災害時の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いざというときに役に立つレザードマップ(危険な場所を示した地図)を! ・空室に備えて、飲み水を確保しておきたい 	<p>道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路を拓げることが大事 ・狭い道・拓げる道のメリハリが大事! ・歩行者が安全に通行できる道づくりを! ・ブロックを廃止し、安全な避難路の確保を ・旧中山道の古くからの裏道を「品の良い裏道」として活かしていきたい 	<p>商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元氣のある商店街にしたいながら、活性化を考えたい ・ゆったり歩行でき、ゆったり買い物できる商店街に! ・商店街の商品陳列・駐輪に関するルールが必要 <p>不動通りの商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観音寺を柱に不動通りの活性化を考える <p>町会・商店会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会と商店会の協力で商店街を使いやすくしていきたい 	<p>石神井川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石神井川の緑は日本一! 都市景観として輝いていきたい ・石神井川をまちづくりに活用する(柳や緑道) <p>史跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡や石神井川の環境を殖し、活かしていきたい! ・史跡や景観に関わる区民担当どうしの連携を!
	<p>安全・安心まちづくり</p>	<p>安全・安心まちづくり</p>	<p>安全・安心まちづくり</p>	<p>元気なまちづくり</p>	<p>景観・歴史まちづくり</p>	<p>集えるまちづくり</p>

- 現状の課題
- ・自転車のマナーが悪い
 - ・活気が少なくなっている
 - ・町会の集会所がない
 - ・商店街のお店が減っている
 - ・町会への参加者を増やしたい

目標 商店街の活性化

(空き店舗を少なくする。)

- ・ 町と商店街が協力する。
- ・ 集える場所を提供する
- ・ 自転車のマナーを改善し、より安全な商店街にする。

商店街の内外両方から訪れやすく、なるべく大きなスペースを活用して課題解決できないか

→現在の駐車場の敷地を有効活用したい！



空間で繋がる

提案…多目的な機能を備えた空間に。

機能配置イメージ



機能例 用途に合わせた作業空間（例）音楽、美術、創作活動が行える空間

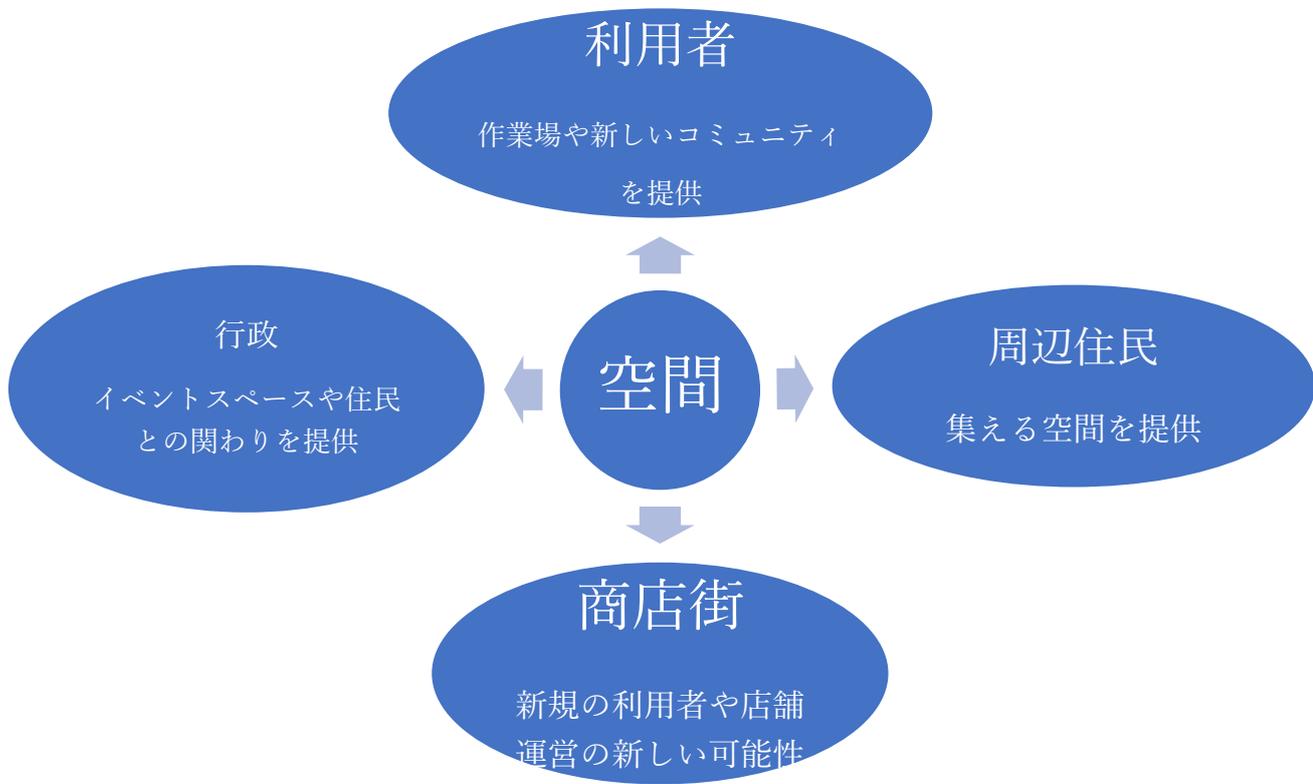
打ち合せや会議が行える空間

インターネットを利用できる空間

大きな調理スペース

読書スペース、休憩スペース

- 駐輪場
- 広場
- コミュニケーション



イメージ画像

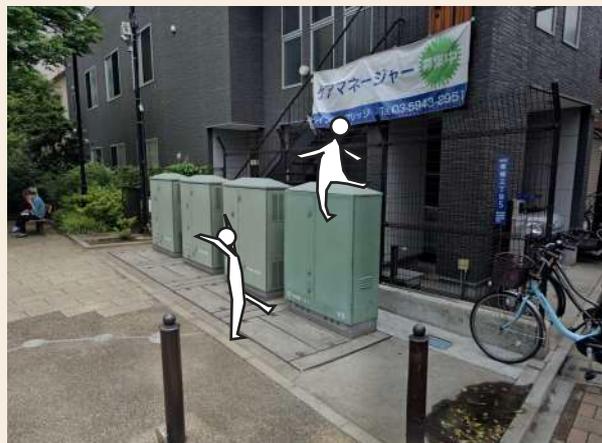


引用 GOOD FOOD MARKET at 調布駅前広場

地域に新しい「つながり」を生み出し、商店街を活性化させることのできる空間に

親子通り商店街

きっかけ～こどもの居にくい道路空間？～

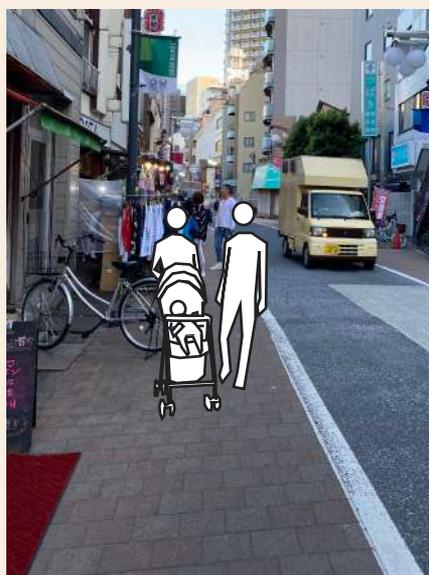


- 車通りの多さ
- 大型車両の通行

- 自転車通りも多い

- 危険な場所で遊ぶ子どもも…

思い描く道路空間は？



- 路地裏で遊ぶ子ども

- 家族で横並びに歩く

- はじめてのおつかい

調査

板橋区人口ビジョン（2020年～2045年）

- ①現状・課題
- ②今後の方向性

総人口

- ①人口増加傾向にあるが、近年では増加率がやや減速しつつある。
- ②できる限り人口総数を維持できるよう、施策に取り組む必要がある。

自然増減

- ①0～4歳人口は微増傾向にあるが、合計特殊出生率は東京都や特別区部を下回る水準で推移している。
- ②若い世代が安心して出産・子育てできる環境を整備していくことが必要である。

社会増減

- ①10歳未満、30歳代は転出超過の状況となっている。
- ②子育て世代等の人々に選ばれるまちとして区の魅力を高める。

年齢階層別人口

- ①年少人口、生産年齢人口は微増傾向にあるが、老年人口は増加が続く。
- ②生産年齢人口の定住化や年少人口増加等バランスのとれた年齢構成とする。

板橋区人口ビジョン(2020年-2045年)
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/01/007/138/attach_95782_1.pdf

板橋区区民意識意向調査（令和元年度）

住みやすいと感じる人の割合が全体を下回っている属性



住みやすいと感じる人の割合が全体を下回っている属性



令和元年度 板橋区区民意識意向調査 報告書
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/01/016/583/houkokusyo3m.pdf

考察

子育て世代の悩み

- ①現状・課題
- ②求められている空間

活動時間と朝市

- ①小さな子供がいる家庭では、朝早くから素直に買い物に行くことは難しい。6:30～8:00頃に行われる朝市は地域との関わりを持って良い機会ではあるが、時間の問題で参加をしにくい。
- ②家事がひと段落する時間に合わせて開催される、地域と関わりがもてるイベント。

道幅の狭さ

- ①道幅が十分に確保されておらず、歩道上をベビーカーを押して歩きにくい。自動車や自転車の交通量の多さから、小さい子供を連れて歩きにくい。
- ②ベビーカーを押して、小さい子供を連れて、のびのびと歩けるような道路空間。

相談相手

- ①親元を離れて暮らしているため、子育ての相談をしにくい環境である。もっと身近に相談ができる先生のような存在が欲しい。
- ②親しみのある人に子育ての相談ができるような場所。普段の買い物の中でも、子育てに関する相談ができるような場所。

商店街における子育てのメリット

- ①魅力
- ②子育てメリット

受け継がれるコミュニティ

- ①商店街がもつあたたかいコミュニティは、昔から、そしてこれからも受け継がれていくもの。家族ごと参加しやすく、商店街と共に人生を歩むことができる。
- ②孤独化しかねない子育て世代をその温かさで包み込み、積極的に関わりを持つことで商店街全体でひとつひとつの家族を見守ることができる。

多世代交流の生まれやすい場

- ①商店街は近隣住民の交流の拠点であり、世代を超えた関わりが生まれる。入学や就職を機に転入した方や、生まれてから何十年と住み続ける方など、様々な人々が集まる。
- ②世代を超えて様々な人と関わり合うことで、様々な学びを得るきっかけとなる。日々継続して交流することで、一人一人の体調の異変にも気づきやすい環境となる。

様々な種類の商店

- ①商店街は様々な職種が集まる場所であり、各商店において個性豊かな商品が並ぶ。それぞれの職について店主がいることにより、その職ごとの踏み込んだ質問ができる環境が生まれる。
- ②各店それぞれにおいて相談に乗り、子供の成長に合わせた商品を随時提案することができる。一人一人の子供に合うものを提供してくれるという信頼感や、見守る人がいるという安心感が生まれる。

親子通り商店街とは…

調査・考察から考えられる、「今、親子が求めている空間」を実現した短日開催イベント。子育てがひと段落した時間一朝市の後を想定し、不動通り商店街において親子がのびのびと過ごすことのできる空間をつくる。

親子通り商店街における2つのポイント

交通規制 × 子育て支援

交通規制

- 自動車・自転車等の通行を禁止する「タイヤ禁止」区域を設ける
- 自動車・自転車で商店街を訪れる人に向けて、駐車輪場を設ける



通行OKのタイヤ



通行NGのタイヤ



子育て支援

➤ 子育て関連商品・サービスの提供を大きく打ち出す（各商店）

子育て関連商品・サービスを多く提供することで、親子の目線が様々な商店へ向く。

例①：子供向けメニューの展開、レシピ公開

おこさまメニュー展開を増やす。

離乳食や低アレルゲンメニューの選択肢を増やし、親子がワクワク食事ができる場所にする。

簡単にパパッと作れるレシピを公開し、自宅における食生活も支える。



飲食店でおこさまメニューを食べる親子

例②：子供に合わせた販売、知識の提供

子供向け商品や親子にとって良い影響を与える商品を全面に売り出す。

商品の子供に与える良い影響や、商品の活用方法、成長に合わせた展開方法等の知識も提供し、商品における不安を解消する。



親子の相談に乗る店員

例③：商品を使ったワークショップ

商品を使う、商品を材料とするものづくりワークショップを開催し、ふれあいコミュニケーションの機会を増やす。

他のレシピを併せて材料道具のセット商品を販売し、自宅でも似たものを作れるようにする。



ものづくりワークショップに参加する親子

➤ 先輩パパ・ママへの子育て相談カウンターを設ける（縁宿広場）

親や子供が地域の大人に子育てを相談できるカウンターを設ける。

親子のストレス緩和や不安解消だけでなく、地域から親子への理解を深めるきっかけ作りとする。

➤ 乳幼児向けの各種設備を設ける（地域センター）

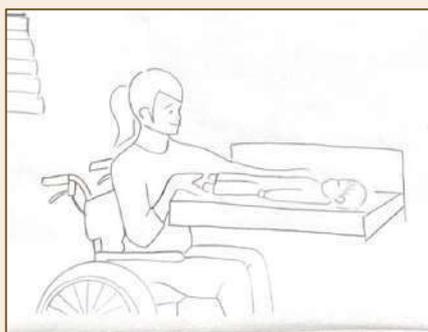
授乳室やオムツ替えスペースを多数設け、乳幼児を連れた人の不安を解消する。

➤ 父親学級、両親学級等を開催する（地域センター）

父親学級、両親学級等を開催し、子育ての不安解消へつなげる。

➤ 最先端子育てグッズ展覧会を開催する（観明寺前）

他にはない、最先端の子育て関連商品を展示することで他の地域に住む人からの興味関心にもつながる。商店街の中におけるレンタル利用を通し、実際の利用への想像を掻き立てる。



井戸×花手水

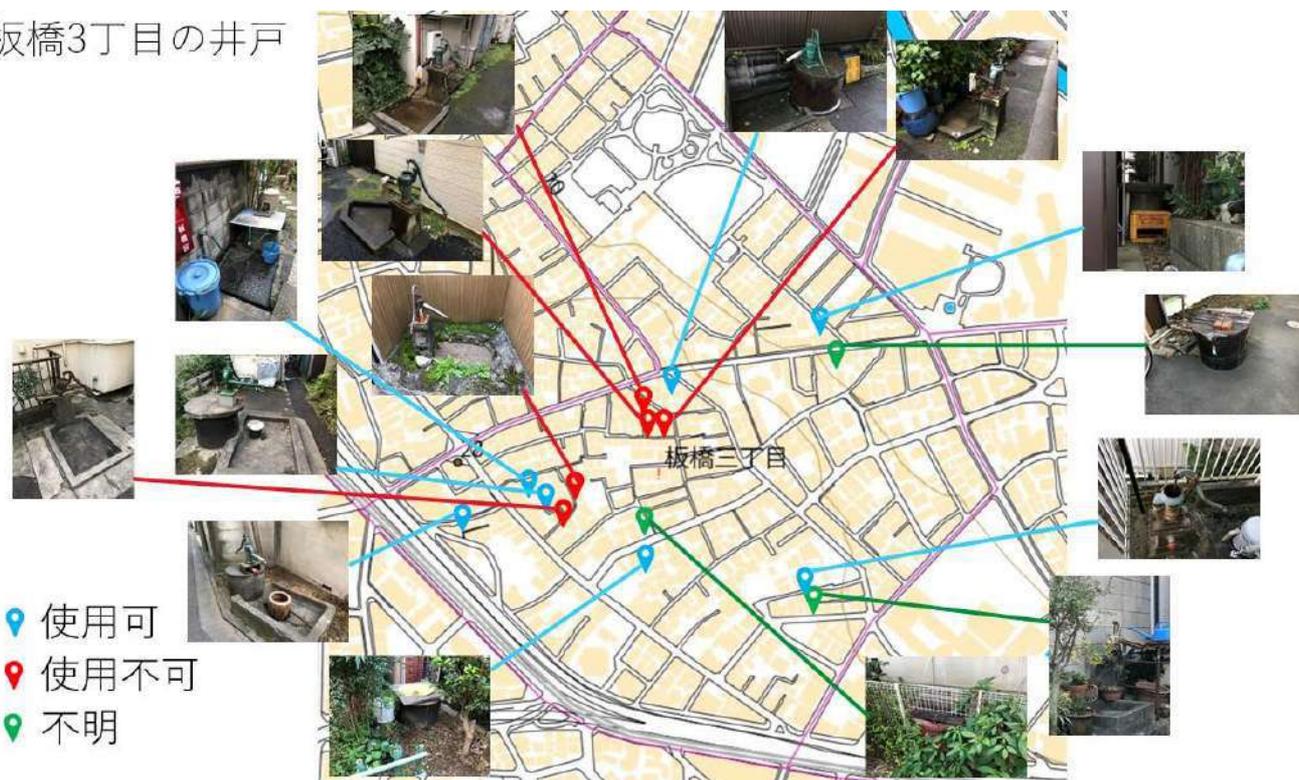
隠れた魅力「井戸」の発見

旧中山道板橋宿とその周辺地域の至る所で「井戸」を見つけた。これらの井戸を生かすことで次のようなことが期待できるのではないか。

- 1, 生活の質が向上
- 2, 地域の魅力をみがく
- 3, 人とのつながりを生む



板橋3丁目の井戸



備考)

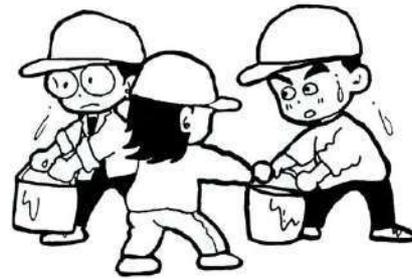
- ・使用用途 近隣住民で雑用水として共有、災害時用水 etc.
- ・蓋がしてある、私有地にある井戸は使用できるか「不明」とした。
- ・使用不可の井戸は手動機が壊れていた。

井戸を活用するメリット

1, 景観に個性がでる。



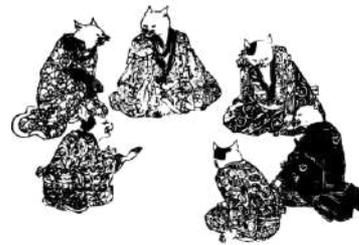
2, 非常時、災害時に利用できる。



3, 雑用水として利用できる



4, 地域コミュニティの創出



目指すかたち 「井戸端会議が生まれる町」

薄くなりつつある人のつながりを井戸を通して改善したい。



井戸端会議

井戸が生活用水として主に使われていた時代は共有井戸に集まり、洗濯や水くみをしながら世間話や噂話をした。

どうしたら実現できるか？

- ・井戸が利用可能な状態
- ・井戸の存在が認知されている状態
- ・井戸を日常的に利用する。
- ・井戸を利用する精神的なハードルが低い。

井戸×花手水

提案 「井戸と花手水を絡めた生活」



花手水（はなちょうず）

神社や寺院でお参りをする際に手を清める場所（手水）に色とりどりの花を浮かべて飾ったもの

井戸端会議が生まれる町を実現するための要素をクリアするために、ハレとケの両方で井戸を利用するような生活を提案する。

「ハレ」・・・祭りや年中行事などの非日常 「ケ」・・・普段の生活、日常

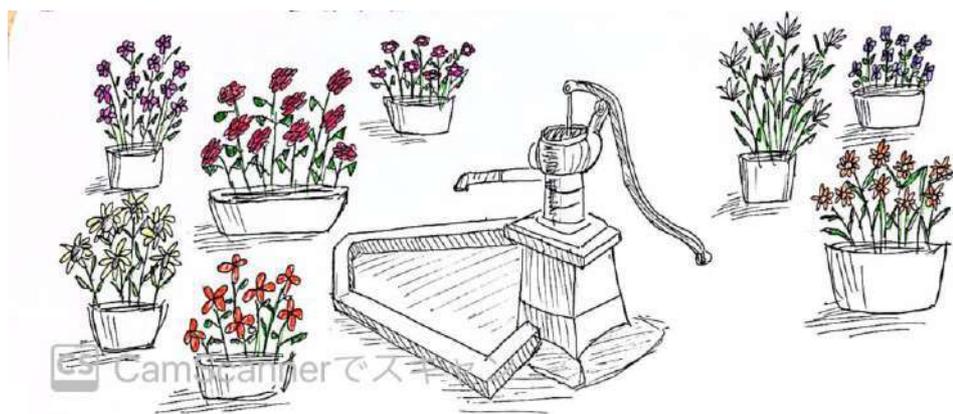


日常的に井戸を利用することで住んでいる方々は井戸の存在や位置を認知し、井戸を利用する精神的なハードルが下がる。また、祭りのような非日常的な行事があることで普段の生活にメリハリがつく。

住民の生活に井戸が組み込まれていくことで自然と会話が生まれる。

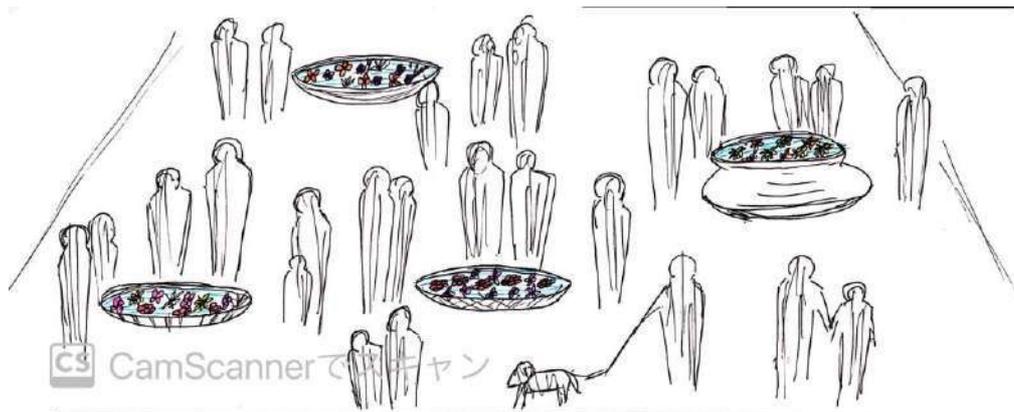
ケ (日常)

- ・井戸の周辺の住民ごとに班分けをする。井戸周辺で班で協力しながら井戸水を用いて四季折々の花を育てる。
- ・井戸がある路地裏は花で彩られる。
- ・井戸の用途は園芸のみに絞らず様々なことに利用できるようにする。



ハレ (非日常)

- ・1年に4回、育てた四季折々の花で花手水をつくりコンテスト(祭り)を開催する。
- ・観明寺、板橋三丁目縁宿公園など商店街に隣接したところに展示し、商店街の盛り上げを兼ねる。
- ・花手水を展示するときは平たく大きな陶器や壺に水を張って花手水をつくる。



趣味シェア商店街



趣味シェア発祥の地をたどる

板橋区南東部に位置する不動通り商店街、通称趣味シェア商店街。ここは2020年に千葉大生の提案により商店街で趣味をシェアすることが決まった。あれから10年。趣味シェア商店街は今、どう変わったのだろうか。

趣味シェアって？

2021年、不動通りから始まった、各個人の趣味を共有する仕組み。
朝市の後、月一回のイベントとして始まった。

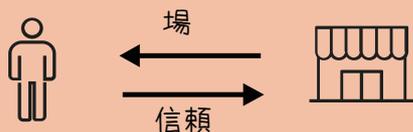
趣味のコレクションを売るに留まらず、客と共に楽しむサービス
や自分の専門についての知識をレクチャーするなど多様な形で提供可能。

1サービス 100円～と安価なことで庶民でも参加しやすいのが特徴。

趣味シェアの役割

コミュニケーション

- ・お客さんとの距離が縮まる
- ・お客さん同士でも話すように



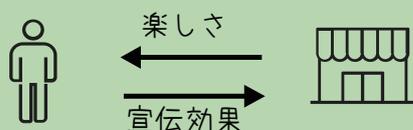
情報提供

- ・お客さんと専門知識を共有



新規開拓

- ・趣味に魅かれたお客さんが来る

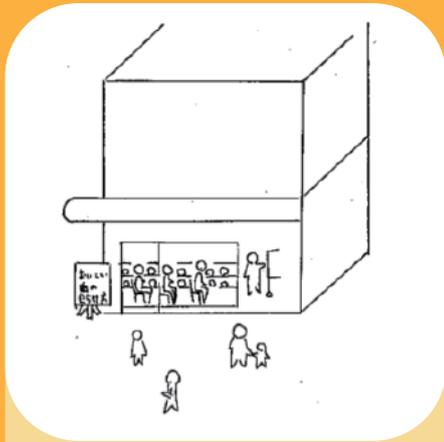


他にも、、、

- ・ストレス解消効果
- ・空き店舗解消

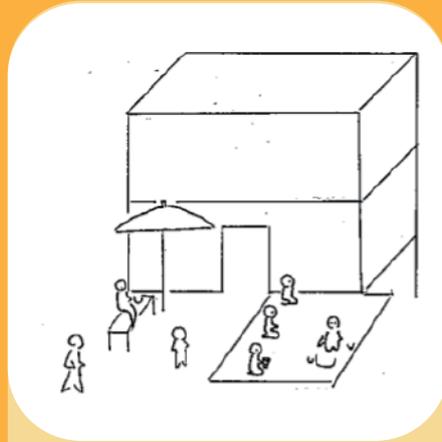


趣味シェアの様子



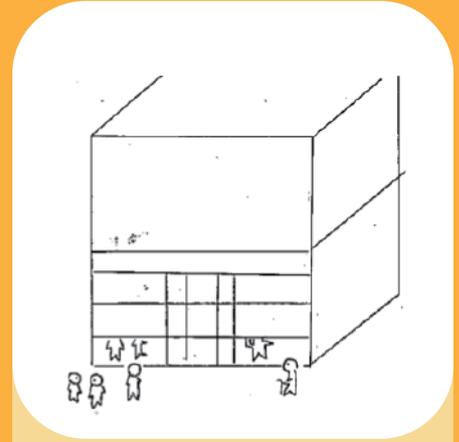
おいしい肉の見分け方教室

- #お肉屋さん
- #主婦(夫)大歓迎
- #30分で肉のプロに



文具屋茶店

- #野点
- #おばあちゃんのわざ
- #日本文化
- #小学生から参加可

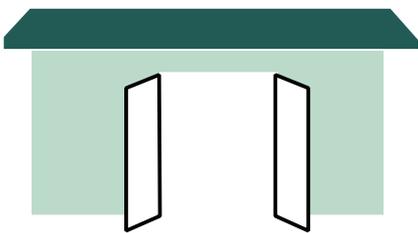


おじちゃんの相談部屋

- #聞き上手
- #子育て相談

色々な形の店構え

ドアオープン型



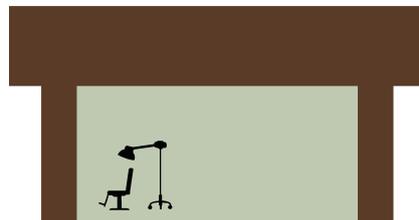
特徴

出入りしやすい

向いているのは、、、

良さを広めたい趣味

のぞき見型



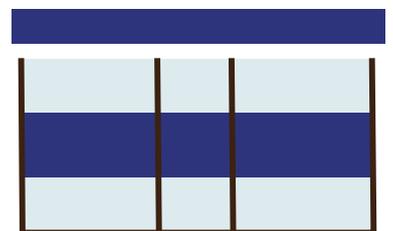
特徴

人の様子が見える

向いているのは、、、

匂い・音の漏れる趣味

こっそり型



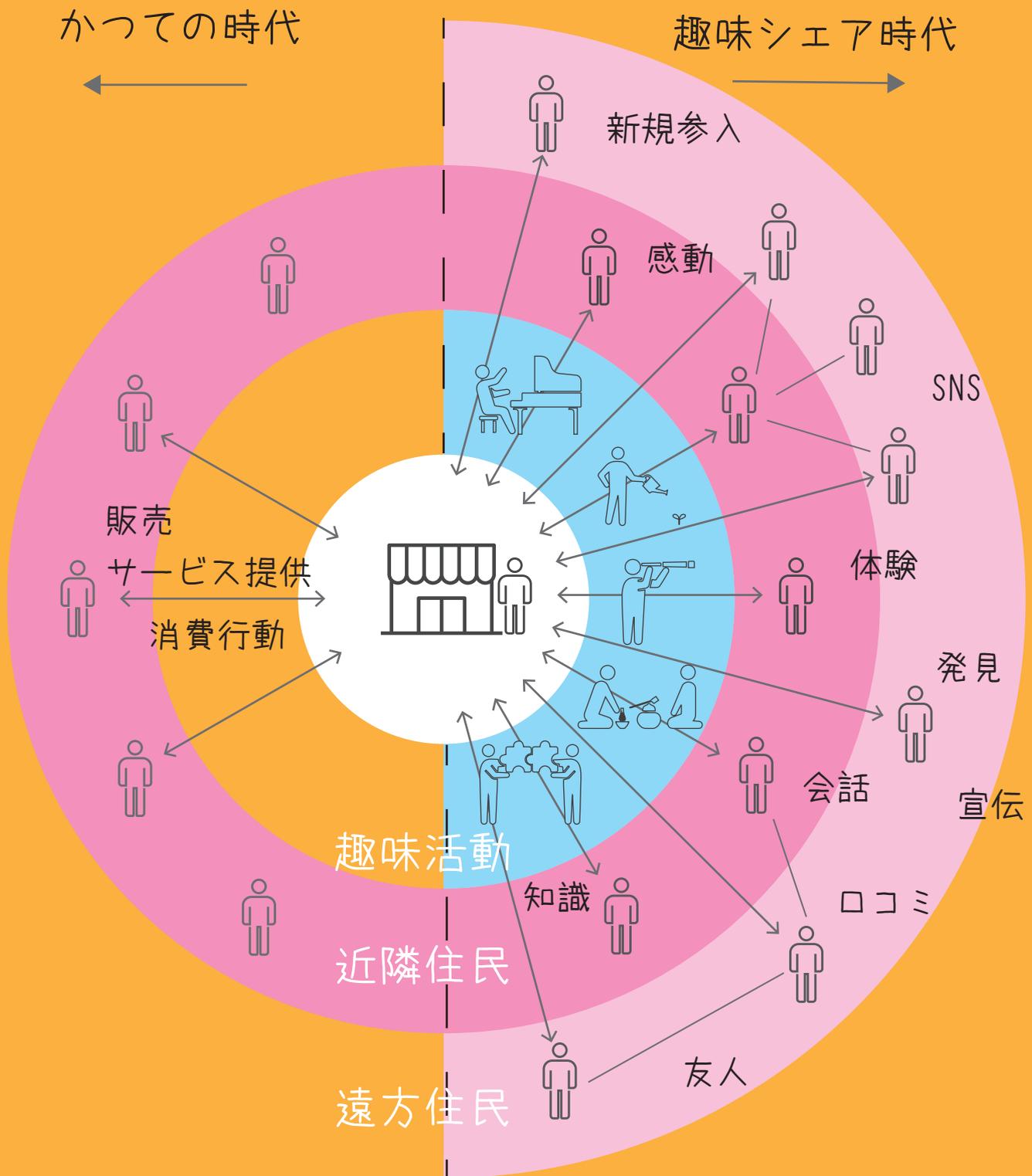
特徴

親密になりやすい

向いているのは、、、

お話メインの趣味

趣味シェアで変わったこと



商店の方の声

楽しい

知り合いが増え、毎日誰かがおしゃべりしに来てくれるのが楽しい。

R. I.

安心

近所に誰が住むかが分かるようになった。防犯につながっている。

J. T.

空き店舗対策

地域外から趣味をシェアしながら商いしたいという人が出てきて、空き店舗が減った。

M. D.

売り上げ

趣味シェアでつながった人がお店に通ってくれるようになって売り上げが増えた。

Y. O.

働き方にも変化が

パン屋のYさんの一日

8:00
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
18:00
19:00
20:00

開店作業

営業

閉店作業

趣味シェア

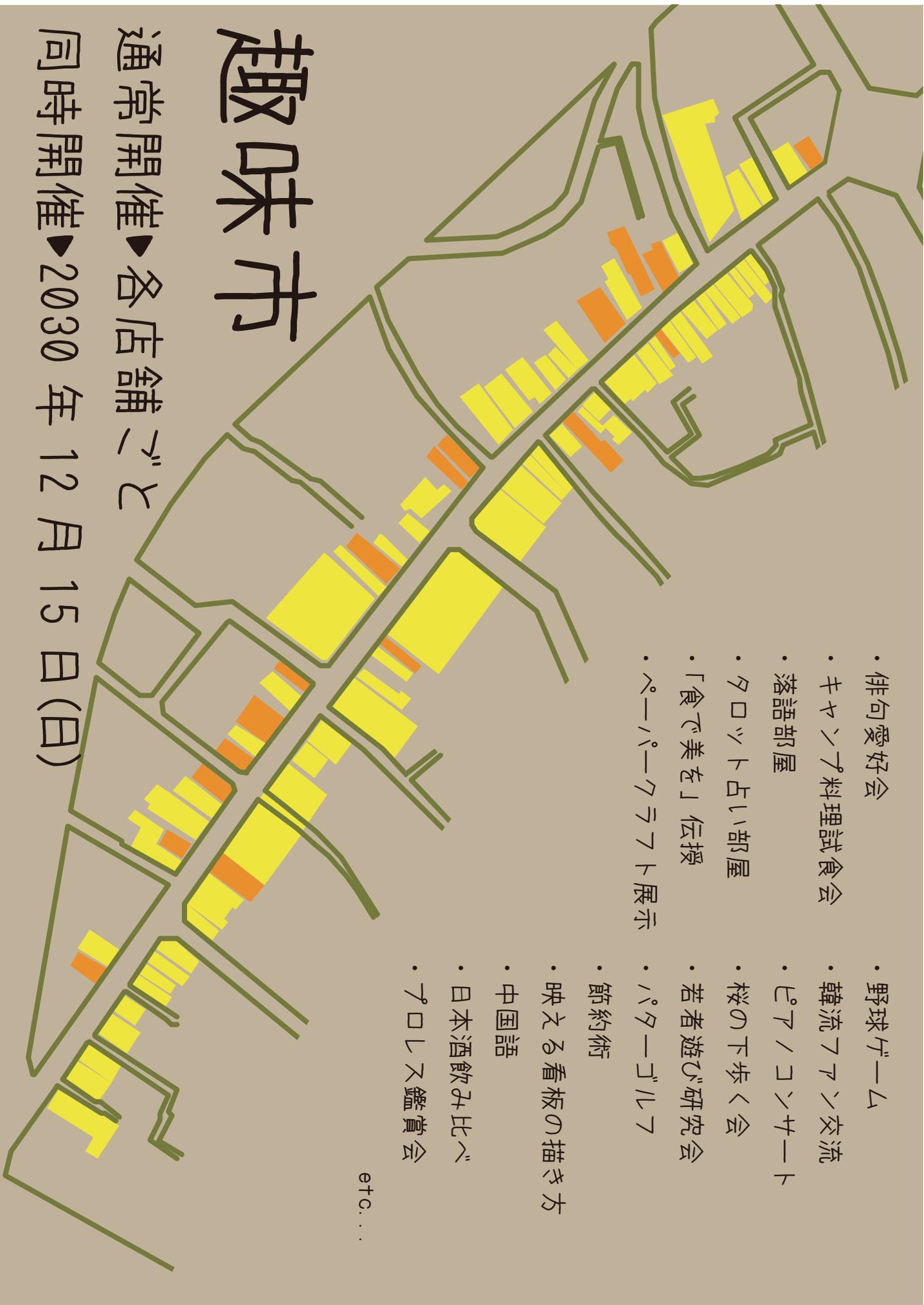
閉店



朝昼晩働く→疲労



朝昼働き夜は趣味→ストレスフリー



趣味市

通常開催▶各店舗ごと

同時開催▶2030年12月15日(日)

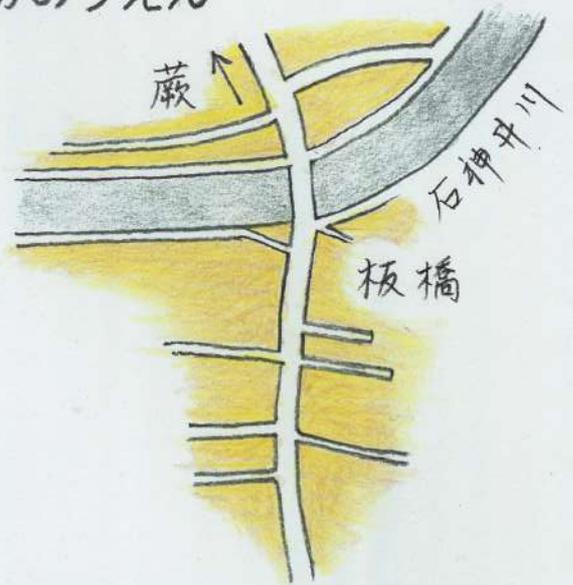
- ・俳句愛好会
- ・キャンプ料理試食会
- ・落語部屋
- ・タロット占い部屋
- ・「食で美を」伝授
- ・ペーパークラフト展示
- ・野球ゲーム
- ・韓流ファン交流
- ・ピアノコンサート
- ・桜の下歩く会
- ・若者遊び研究会
- ・パターゴルフ

- ・節約術
- ・映える看板の描き方
- ・中国語
- ・日本酒飲み比べ
- ・プロレス鑑賞会

etc...

Musubu Farm むすびののうえん

板橋は中山道板橋宿から続く歴史文化ある街である。しかし、近年、商店の減少やマンションへの建て替えが進み、もともとあった地域の活気や風景が失われつつある。現在、地域を想う人々によって再生・活性化の取り組みが行われているが、ここでは、人と地域を結ぶ農園を提案する。



地域課題

- ・店主の高齢化、後継ぎ問題
- ・空き家、空き店舗
- ・新たな借り手探し
- ・マンションへの建て替え
- ・新住民の地域参加
- ・人の居場所、集う場所
- ・子ども、親子の遊ぶ場所

地域資源

- ・商店街・人
- ・旧中山道板橋宿
- ・旧加賀藩下屋敷
- ・榎屋街道
- ・観明寺 縁日
- ・お祭り 御神輿
- ・朝市 ちろつき 縁宿広場

目標像

- ・地域の中心に商店街がある
- ・そこに人が集まる
- ・そこで人と活動の結びつきが生まれる

これまでの取り組み

- 板橋宿不動産通り商店街振興組合
- 板橋まちづくり協議会
- 板橋区
- 向こう三軒両隣

- ・景観まちづくりプラン
- ・バターフラッグ
- ・無電柱化
- ・1階部分を商店化

株式会社 向こう三軒両隣

おとなり stand & works

カフェ、コワーキングスペース

板五米店 - 旅とつながり

おむらびカフェ、イタゴツリズム

creation space enoojuku

コミュニティスペース

Meguru energy めぐるでんき

エネルギーの地産地消

地域投資のしくみ「めぐるスイッチ」

板橋宿

中山道1番目の宿場町。
石神井川にかかる橋が地名の由来。

板五米店

築100年の旧米屋商店。
現在はおむすびカフェに。

旧加賀藩下屋敷

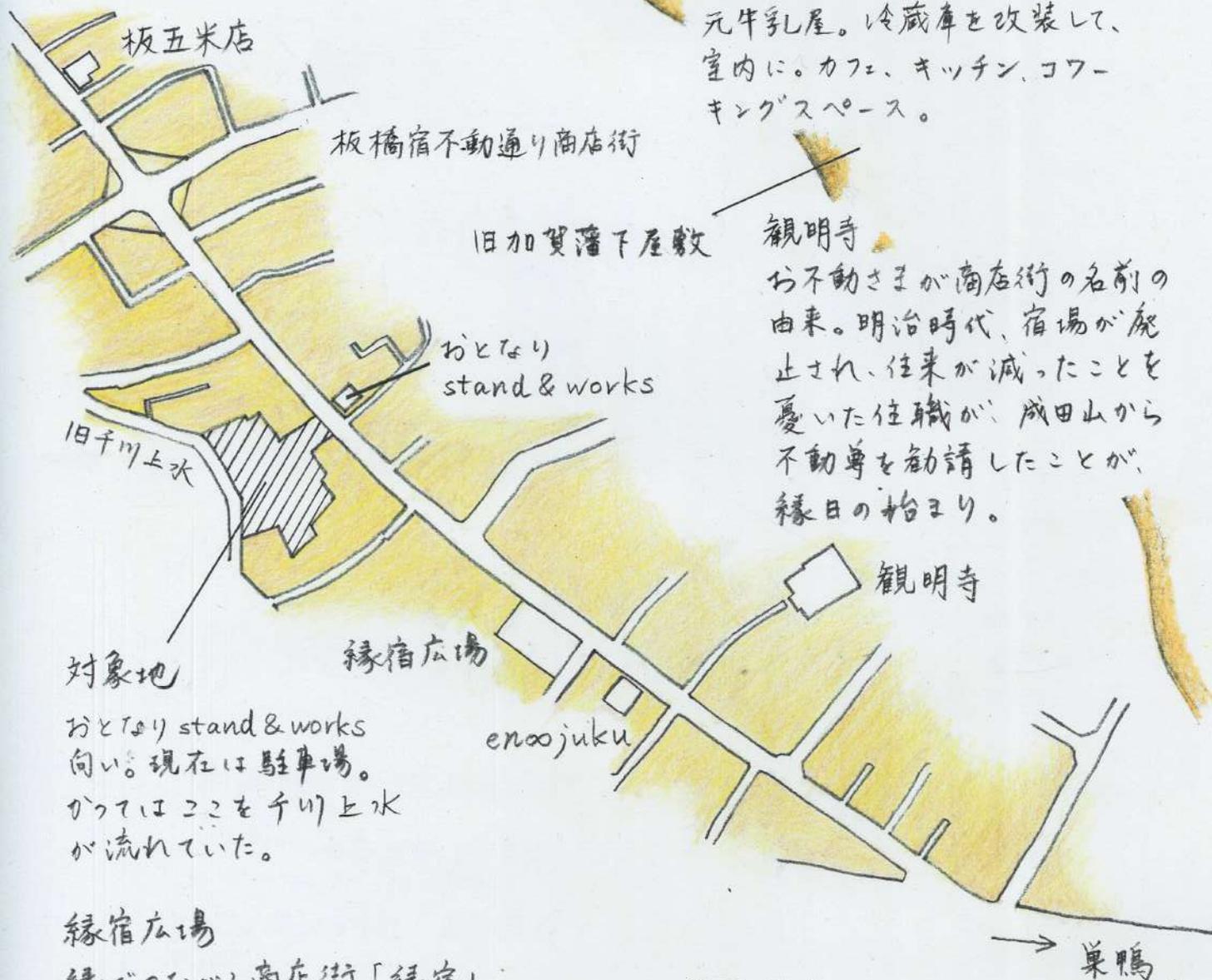
加賀藩がこの地に下屋敷を置いた。地名にその名残がある。現在でも金沢とのつながりが続いている。

おとなり stand & works

元牛乳屋。冷蔵庫を改装して、室内に。カフェ、キッチン、コワーキングスペース。

観明寺

お不動さまが商店街の名前の由来。明治時代、宿場が廃止され、往来が減ったことを憂いた住職が、成田山から不動尊を勧請したことが、縁日の始まり。



対象地

おとなり stand & works
向い。現在は駐車場。
かつてはここを千川上水
が流れていた。

縁宿広場

縁でつながる商店街「縁宿」。
朝市やもちつきが縁宿広場を
中心に行われる。

種屋街道

中山道を通る旅人が街道沿いの
農家に立ち寄り、国元では見慣
れぬ野菜の種を求めた。そこから、
種を扱う専門店が、巣鴨から板
橋にかけて軒を連ねるようにな
った。

Musubu Farm むすびののうえん

1. 人と人を結ぶ

多世代コミュニケーションの場

引退した人, 子ども, 親子, 新規住民

2. 地域の食と経済の循環の環を結ぶ

地産地消

朝市, 収穫祭

採れたものを店舗で提供

もちつき, 旬の野菜

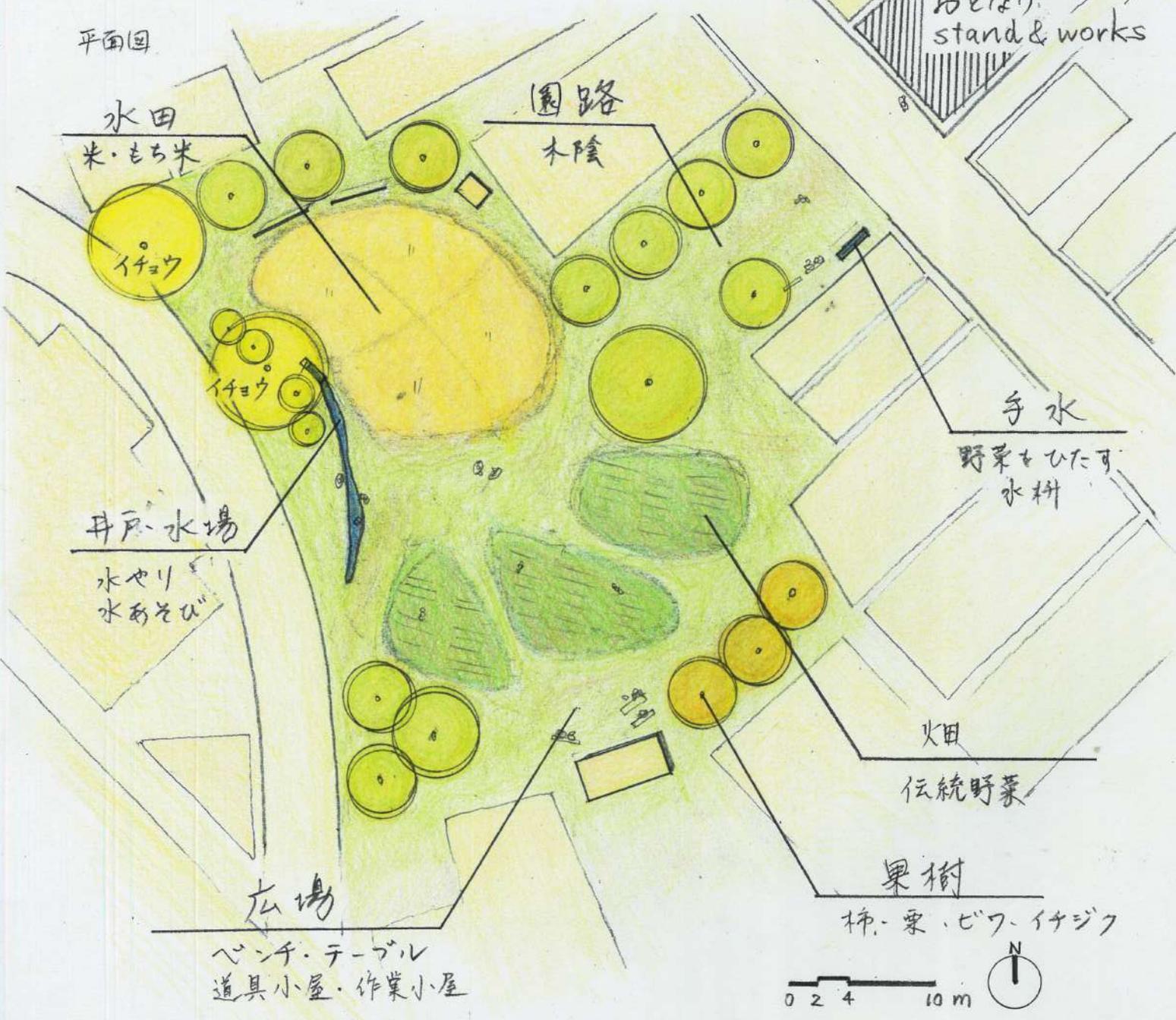
3. 時代と場所を結ぶ

江戸時代の街道裏の風景 水田・畑

江戸野菜, 加賀野菜, 石川米「ひやくまん穀」

人が集い
子どもがはだして遊ぶ
農園

平面図



おとな stand & works

手水

野菜をひたす
水耕

畑

伝統野菜

果樹

柿・栗・ビワ・イチジク

広場

ベンチ・テーブル
道具小屋・作業小屋

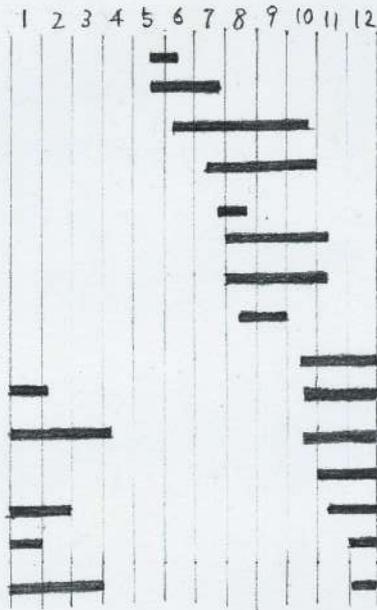
0 2 4 10 m



収穫カレンダー

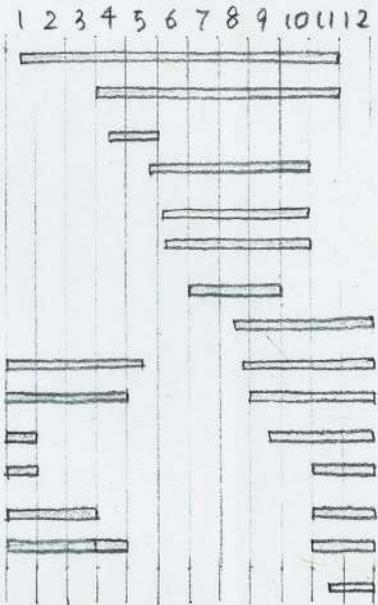
江戸野菜

- 川口エンドウ
- 鳥込半白ネギ
- 寺島ナス
- 志村みの早生大根
- 鳴子ウリ
- 早稲田シヨウガ
- 肉藤カボチャ
- 谷中シヨウガ
- 滝野川ニンジン
- 滝野川カブ
- 伝統小松菜
- 肉藤トウガラシ
- 滝野川コボウ
- 下山千歳白菜
- 砂村一本ネギ



加賀野菜

- 金時草
- 加賀太きゅうり
- たけのこ
- 村木西皮甘栗かぼちゃ
- 加賀つるまの
- へた柴わら
- あずき
- さつまいも
- 加賀れんこん
- 金沢香菊
- 源助だいこん
- 金沢一本太ねぎ
- 二塚からしな
- せり
- くわい



ひやくまん穀 石川東新ブランド米品種

一粒が大きく、粒りが強くもちりしている。
冷めても硬さや粘りの変化が少なく、おいしい。

むすぶつきの図

